



# つるおか 宏 祥 鶴岡ひろよし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 地域の思いを県政に

2期8年間の茂原市議会議員の実績を引っさげ、昨年3月の補欠選挙で当選、勇躍、県議会の場に歩みを進めた鶴岡宏祥(つるおか・ひろよし)県議が9月県議会一般質問で登壇し、フレッシュな質疑を行ないました。

より多くの笑顔があふれる街づくりに全力投球を誓う鶴岡県議ですが、その公約通り、初の県議会一般質問では長生郡

市の住民らが大きな期待を寄せている圏央道の工事進捗状況を質問しました。医療体制の充実では急病人の搬送に活躍しているドクターヘリの夜間運航実現に向けて、県の方針を質しました。

このほか、農業問題や長生の森公園の駐車場問題など、地域のさまざまな課題について、改善への取り組みを県に要望しました。



茂原市特集

9月県議会一般質問

# 圏央道 茂原東金間工事 95%の用地取得

鶴岡議員 首都圏中央連絡自動車道いわゆる圏央道はアクアラインと一体化し、長生郡市をはじめ外房地域にとって、物流などの企業活動や観光客の誘致など、地域経済活動の活性化を図る上からも早急な完成が期待されている。圏央道の茂原から東金間の進捗状況はどうか。

在で約九五%と進んでおり、重要な工事が順次進められていきます。県としては、一日も早く開通するよう、事業者である国や東日本高速株式会社に、積極的に協力してまいります。

鶴岡議員 圏央道へのアクセス道路となる長生グリーンラインの整備状況はどうか。

県土整備部長 (仮称) 茂原長南インターチェンジから国道409号までの区間〇・七キロを、圏央道の開通にあわせて供用を図るため現在、重点的に工事を進めております。さらに、圏道茂原大多喜線までの約四キロ区間につきましても、早期供用に向け整備を進めてまいります。

鶴岡議員 山武長生夷隅地域では、急病人の緊急搬送に要する時間が年々、長時間化しており、平成十九年の状況では、全国平均の三三・四分を大幅に上回る四七・一分となっている。圏域外への搬送も三九%と、この地域の緊急搬送の状況は大変憂慮すべき状況。このような状況の中で大きな成果を残しているドクターヘリの夜間運航を実施する上で、どのような課題が

9月県議会一般質問に臨んだ鶴岡宏祥県議 圏央道建設やドクターヘリ夜間運航について質問した

鶴岡ひろよしの

## 4つの抱負

- 健康でふれあいの地域づくり
- 安全で快適な環境づくり
- 産業振興都市づくり
- 未来を拓く人づくり

健康福祉部長 現在、ドクターヘリの運航時間は午前八時三十分から日没三十分前までとされていますが、緊急医療体制の充実強化を図る手段の一つとして、ドクターヘリの運航時間の延長が有効と考えています。病院のスタッフや航空関係者などによる専門部会での検討結果の報告では、夜間でも運航するための航路の確保、夜間騒音についての近隣住民の理解、夜間照明設備や天候観測システム整備など、さまざまな課題が指摘されました。

鶴岡議員 現行で一機あたり一億七千万円の経費がかかることですが、夜間八時まで延長した場合、いくらかの経費がかかるのか。

健康福祉部長 自動飛行装置などのヘリ搭載設備に一機一億五千万円、夜間でも安全に離着陸するための夜間照明設備などに約二億二千万円、格納庫などの設置に約一億六千万円などの追加費用が必要。その他に操縦士や医師、看護師などの人件費などの通常経費に一機あたり毎年一億円以上の増加が見込まれています。

## 鶴岡ひろよしプロフィール

- 〇経歴〇
- 昭和27年12月 茂原市早野生まれ
  - 昭和50年3月 立正大学経済学部卒
  - 昭和50年4月 千葉県共済農業協同組合連合会勤務
  - 平成5年1月 みなみスポーツセンター代表取締役
  - 平成9年7月 茂原市農業委員初当選
  - 平成13年4月 茂原市議会議員初当選
  - 平成21年3月 県議会議員初当選

- 〇現職〇
- 県議会 健康福祉常任委員会委員
  - 千葉県 生活衛生適正化審議会委員
  - 茂原市 県野球協会茂原支部顧問

●茂原市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください

鶴岡ひろよし 県議事務所 〒297-0037 茂原市早野2130 TEL.0475(27)2601 FAX.0475(26)2839

# 米粉普及で食料自給率向上

## 県内産、学校給食での活用を推進

県議会の自席で再質問に立つ鶴岡宏祥県議



## 県、老朽施設更新を支援

## 施設園芸産地を再構築

鶴岡議員 食糧自給率の向上が今後の農政にとって大きな課題になっている。生産高全国二位の農業県である千葉県は、首都圏を中心に、全国に食料を供給する大きな役割を果たしているが、米価の低迷により、主食用米を作るだけでは所得の確保が難しく、稲作農家は兼業で生計を立てている。このままでは首都圏への

新鮮食料の供給を支えている千葉県農業は衰退している。その中で、近年注目を集めている米粉は、水田の有効活用による食料自給率・自給力の向上に寄与するものとして期待されているが、県はこの米粉食品の普及啓発について、どのように取り組んでいるのか。

農林水産部長 米粉食品 による米の利用拡大は、食料自給率の向上や食育活動の推進などさまざまな観点から重要な課題と考えており、生産者団体や流通業界と連携して、米粉食品の普及啓発に広く取り組んでいるところだ。

鶴岡議員 県内産米粉の学校給食への活用を図るべきと思うがどうか、  
教育長 現在、学校給食

鶴岡議員 化学肥料や化学農薬を通常の二分の一以下に抑える県独自の「ちばエコ農業」による「ちばエコ農産物」は、環境への関心の高まりの中で、今後ますます重要になってくるものと思われる。この「ちばエコ農産物」

農林水産部長 消費者の認知度向上のためのPR、販売協力店の拡大、栽培技術の研究開発や普及指導、土づくりや病害虫防除のための機械などの導入支援などをどのように推進していくのか。

鶴岡議員 あふれる自然

ではすべて県内産米粉を使用しておりますが、製粉コストなどの面で課題があるものの、JAなどの協力を得ながら毎年活用が増えており、千葉県学校給食会でも、昨年十一月から米粉や米粉パンの取り扱いを本格的に開始しました。今後も、学校給食に米粉が一層、活用されるよう努めていきます。

鶴岡議員 本納・白子・長生・一宮などの施設園芸は早くから先進的な役割を果たしてきたが、現状では生産者の高齢化と、施設の老朽化が大きな問題になっている。この施設園芸生産地の再構築に向けて、県としてどのように取り組むのか。

知事 施設園芸は、本県農業のけん引役として発展してきましたが、施設の老朽化や担い手の確保など、さまざまな課題を抱えてお

り、産地の再構築にはハウスなど施設の再整備と、担い手や労力確保などを合わせた体制づくりが重要になっていきます。県ではハウスなどの新設および更新については「園芸王国ちば」強化支援事業で積極的に推進するとともに、施設の改修は農業近代化資金などの活用を図っているところです。今後とも、地域の実態把握に努めるとともに、市町村、農協、農林振興センターなどの支援体制の強化を図り、施設園芸産地の再構築に向けて必要な施策を検討してまいります。



県議活動の傍ら、農業に精出す鶴岡宏祥県議

茂原市 集

9月県議会一般質問  
笑顔があふれる  
街へ「全力投球」

鶴岡ひろよし  
おか  
宏  
祥  
県議

### 要望

- (1) 国道409号へのアクセス、県道茂原大多喜線へのアクセスが茂原市域のさらなる発展にとって重要。については長生グリーンラインの一日でも早い完成を目指し、さらなる努力をお願いします。
- (2) 長生の森公園の野球場使用料は、入場料を徴収する場合は高額となっているが、高校野球については、教育の一環であることを考慮し、できるだけ低額になるよう料金設定の見直しの検討を強く要望します。

### 要

健康福祉部長 ドクターヘリの夜間運航を実施する上で、国の財政支援が欠かせないことから、今後とも国に対して強く要望してまいります。